

30 東落田緑地環境保全地域



1 地域指定

- (1) 指定地域 天満宮周辺一帯（八千代町）
- (2) 指 定 昭和59年3月31日（茨城県告示第477号）

2 保全計画の概要

(1) 指定理由

本地域は、スギ、ヒノキの大径木とシラカシ、イヌシデの大径木を主とする常緑樹と落葉樹の混交林が調和した明るい環境を保持し、南側にはコナラ等の二次林を形成する森林である。

林床には、関東平野の山林に特徴的な植物のコバノギボウシが群生している。また、混交林の中には、関東地方以西を分布域とするシラカシ、ヒイラギ等が見られ、平地ではあるが、ヤブツバキ、タブノキ等が下層植物とともに良く生育している。

また、動物相も豊富で、特に関東地方以西に生息し、個体数の少ないウラナミアカシジミ等、希少種が生息するほか、昆虫類、鳥類が数多く見られ、集落内にあって、これらの良好な自然環境を保全する必要がある。

このため、本地域は、茨城県自然環境保全条例第10条第1項第1号に規定する「樹林地が集落地周辺と一体となって、良好な自然環境を形成している区域」に該当する。

(2) 自然環境の概要

ア 植 生

スギ、ヒノキのほか、シラカシ、イヌシデの大径木を主とする明るい混交林である。林内には、ヒサカキ、エゴノキ、コナラ、ヒイラギ、イヌツゲ、ヤブツバキ、タブノキ等が見られ、その下にコバノギボウシ、シュロ、ジャノヒゲ、シュンラン等が生育している。このうち、コバノギボウシは、関東以南には個体数が少なく、東北地方では種が変わることから、関東地方の山林に特徴的な植物といえる。

イ 野生動物

明るい樹林地を好むアオスジアゲハ、ウラナミアカシジミのほか、周辺に、キマダラセセリ、イチモンジセセリ等のセセリチョウ類、クロアゲハ、キアゲハ等のアゲハチョウ類、ベニシジミ、ツバメシジミ等のシジミチョウ類、コジャノメ、ヒメジャノメ等のジャノメチョウ類、コムスジ、キタテハ等の蝶類が数多く生息している。

このうち、アオスジアゲハは南方系の種で、ウラナミアカシジミは四国以北に分布するが、共に個体数が少ない。

また、アジアイトトンボ、オニヤンマ、クロイトトンボ、コフキトンボ等のトンボ類やその他の昆虫類も多種見られる。

さらに、ウズラ、カッコウ、ハクセキレイ、ジョウビタキ、ツグミ等の渡り鳥が見られるほか、四季を通じ鳥類も多数確認されている。

(3) 区 域

ア 区域の概要

本地域は、鬼怒川低地と飯沼川低地に挟まれた八千代町東落田集落地内の天満宮を中心とするまとまった森林地域である。

イ 位置及び区域

結城郡八千代町大字東落田字天神238番地の2外1筆
別図のとおり

ウ 面 積 1.70ヘクタール

エ 土地所有関係

単位：ヘクタール

国 有 地	公 有 地	民 有 地	合 計
0	0	1.70	1.70

(面積は、台帳面積による。)

(4) 自然環境の保全に関する基本的な事項

本地域は、天満宮を中心とするスギ、ヒノキとシラカシ、イヌシデ等の混生する混交樹林であり、林床には、関東平野の山林に多いコバノギボウシが群落を形成している。

この明るい混交林の下に、南方系のアオスジアゲハ、個体数の減少しているウラナミアカシジミ等の希少性を有する蝶類が生息するほか、昆虫類、鳥類が数多く見られる等、良好な自然環境を形成しており、これらの動植物を維持するため、自然環境の保全を図る。このため、保全に必要な規制は、条例の定めにより行う。

(5) 保全施設に関する方針

良好な自然環境を保全するため、必要に応じて保全施設を設ける。

東落田緑地環境保全地域位置図

S = $\frac{1}{50000}$



東落田緑地環境保全地域区域図

S = $\frac{1}{5000}$

